

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	療育センターなないろ 訪問支援with		
○保護者評価実施期間	令和 7年 3月 26日		令和 7年 4月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	176	(回答者数) 89
○従業者評価実施期間	令和 7年 3月 26日		令和 7年 4月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 41
○訪問先施設評価実施期間	令和 7年 3月 26日		令和 7年 4月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	76	(回答者数) 50
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7年 4月 11日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門職による訪問支援を実施することで、保育園、学校とは異なる視点でのアセスメントをすることができる。	訪問支援員は専門療法士による訪問を実施し、保育士、学校教諭とは異なる視点でのアセスメントをできるようにしている。	保育園、学校の教育理念を崩さない中で、専門的視点でのアセスメントを実施し、共有していく。
2	専門力による訪問支援を実施することで、より専門的な評価視点、アセスメントをすることができ、必要に応じフォーマルアセスメントに繋げることができる。	専門療法士による専門視点でのアセスメントを実施、必要に応じて発達検査、心理検査などに繋げるようにしている。また、他職種連携を図れるよう、専門療法士の職種の幅も広げている。	専門療法士の幅を拡大させ、さまざまな視点での介入ができるようにしていく。
3	地域を限定せず、さまざまな地域への訪問支援を実施することができる。	甲州市、北杜市など、幅広い地域への訪問支援を実施している。	今後も継続して、幅広い地域への訪問支援を受け入れている。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育園、学校の教育理念を崩さないよう介入することで、支援が遠慮がちになりやすい。	その児の生活する教育の場は、それぞれの教育理念があることを踏まえ、基本的には保育園の方針、学校の方針を崩さないよう実施している。しかし、その点を重視しすぎてしまうことで、助言不足になってしまうことも見られている。	保育園、学校での困り感や、相談したいことを聞き取るようにし、ニーズに合わせて助言していける体制を確立していく。
2	実施地域拡大をすることで、移動距離が拡大し、移動時間が多くなってきている。	移動時間を確保することで、1日あたりに実施できる訪問数に影響が出てしまうことがある。	訪問員を増員することで、対応できるケース数を増やしていく。

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名	療育センターなないろ 保育所等訪問支援		公表日 令和 7 年 4 月 15 日				回収数	89
			利用児童数		176名			
	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	30	5	0	51			
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	55	3	0	29			
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	81	1	0	5			
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	67	10	3	7			
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	69	8	0	10			
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	77	6	0	3	とても丁寧に個を見てくださり、適切な状況把握と課題の共通認識を図って下さっていると思います。		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	85	1	0	1	子どもの特性を理解した上で具体的なアドバイスや支援を受けられていると感じます。		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	59	9	3	16			
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	62	4	0	20			
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	76	4	1	5			
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	68	2	0	17			
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	79	2	0	6			
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	75	4	0	8			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	70	1	1	15			
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	80	3	1	2			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	70	12	1	4	色々な立場から適切な支援を行えるよう、具体策も盛り込みながら共有してくれています。		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	76	6	0	5			
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	80	2	0	5			
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	82	3	0	2			
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	72	5	1	8	訪問先施設(学校)の理解が難しく、訪問支援を受けられないことがありました。間に入って下さり助かりました。	訪問先の施設にもご理解を頂けるよう、訪問支援の意義や必要性について伝えていくことを継続します。		

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	68	2	2	14		
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	82	2	0	1		
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	72	3	1	11		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	81	0	0	6		
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	60	2	0	24		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	73	1	0	13		
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	74	4	3	5		
	28	事業所の支援に満足していますか。	82	4	0	1	支援には満足しておりますが、担当された先生がわかるようにご報告いただくと嬉しいです。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名	公表日	令和 7 年 4 月 8 日	
療育センターないろ 訪問支援with	利用施設数	76施設	回収数 50施設

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	45	5	0		
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	46	4	0		
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	45	5	0		
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	36	11	3		
5 事業所からの支援に満足していますか。	41	9	0		

その他のご意見

- 丁寧な対応とわかりやすい説明をいただきありがたく、職員一同感謝しております。
- いつも丁寧に対応して頂きありがとうございます。訪問支援では、分かりやすく保育の方向性が見える助言に職員一同、感謝しています。今後とも引き続き宜しくお願いいたします。
- いつも丁寧に対応していただき、助かっています。それぞれのシーンでの様子について、情報交換することの必要性を改めて感じました。ありがとうございます。
- いつもありがとうございます。訪問する時間帯がいつも同じになっているので、できれば違う授業もみてほしい。また、連絡票がヶ月後なので、もう少し早くいただければ、次回にいかしやすいと思います。
- ダウン症児を担当するのは初めてだったので、あまり知識がないところを助けていただい大変ありがたく思っています。おかげで学年当初の不安が軽減し、1年間指導、支援ができました。ありがとうございました。
- 第三者かつ専門家から見たアドバイスをいただけてとても勉強になりました。また、集団生活である学校生活ではなかなか指導しきれないところを個別療育でサポートして頂き有り難かったです。ありがとうございました。
- 一年間、訪問支援をありがとうございました。
- 情報交換の時間確保が難しいので、助言等を報告書にまとめていただけて助かりました。引き続きよろしくお願ひします。
- いつも専門的な観点から、子どもたちへの支援方法へのアドバイスや担任の相談に乗ってくださいありがとうございます。また、保護者への伝え方や援助といった面でも親身になってご協力いただき、大変助かっております。訪問支援があることで、子どもたちの成長を感じることができます。これからもよろしくお願ひ致します。
- 専門的なご意見を頂く事で、個々の関わりの参考になっています。お忙しい中、細かくお話しして頂きとてもありがたく思います。
- 授業を見学されて情報交換できました。
- あまりゆっくり話す時間はなかったのですが、どちらともいえないにしました。ご支援ありがとうございました。
- 訪問時、前回の助言を書面でもいただけたこと、ありがたかったです。しかし、保護者の方にアプリで報告している内容がどのようなものか気になっています。
- 授業中の訪問のため、相談をしたり助言をいただいたりする時間が多く取れなかったように感じます。
- 事業所のモニタリングの内容(どのような療育を行ったり目標を設定しているのかなど)を知る機会をいただけるとありがたいです。
- 学校での困り感(生活習慣など)を事業所でのモニタリングに組み込んでいただけるとありがたいです。
- いつも丁寧に対応していただきありがとうございます。
- 普段の保育の中での対応についてもご相談させていただくことも多く、アドバイスをいただくことができ、とても勉強になります。今後ともよろしくお願ひいたします。
- Q5で、どちらとも言えないを選択しましたが、学校では特に大きな困りごとはないので、月1で来ていただくのが申し訳無かったです。来年度は在籍児童数も増え、体制的に、児童がいる時間に話をするのが難しいので、どういう形で対応できるか課題です。
- 訪問支援で助言いただいたことを学校での自立活動に生かしたり、学校での困り感をお伝えすることで事業所での療育に反映させていただいたり、相互に児童への関わりに生かすことができました。いつもありがとうございます。
- 毎月訪問して下さることで成長を共に共有し見守ることができました。
- 対象児にもよりますが具体的な目標や支援内容を口頭ではなく紙媒体でいただくと職員間での共有にも活かせるのでお願ひできれば嬉しいです。
- 支援している子の様子について、情報交換することができ、アドバイスをいただいたことでのような援助をしていけば良いのかを具体的に知ることができ良かった。来年度も引き続き、よろしくお願ひ致します。
- 私たち保育士には気が付かない視点でより専門的にアドバイス頂き、大変勉強になりました。また、そのアドバイスをいかして、日々の保育の計画・実践ができました。
- 保護者を変えてミーティングをする時間を取っていただけたら情報交換がスムーズに行えると思いました。保護者に伝える際に、園側と事業所様側それぞれで伝えるとどうしても若干のズレが生じてしまうため、オープンな形の方が共有しやすいと感じました。
- 生徒の学校での様子を見ていただいたり、お話ししたりして、学校での成長が福祉サービス利用の際にも感じられることを確認できました。今後の支援の手立てや卒業後の進路等についても相談ののっていただき、安心できました。今後ご家庭と事業所さんと学校との連携を図りながら、よりよい支援ができればありがたく存じます。どうぞよろしくお願ひいたします。
- 保護者の方も、学校と施設との連携を望んでいるので今後定期的な訪問と助言や情報提供などをよろしくお願ひいたします。
- いつも保育園で温かく見守っていただき、適切な対応方法を教えていただけたことに感謝します。訪問支援のお話をさせてもらうことで、色々な事を知ることができ、子ども達への対応に繋がることができました。ありがとうございました。これからも卒園児がそちらの施設を利用するとの事です。
- 2024年度は主に学校の様子を伝えることができたが、その後指導に活かせることは少なかった。もう少し保護者の様子も知らせていただき、保護者と児童、学校とが円滑にできるような
- 訪問支援時のアドバイスがとても参考になりました。対象児に関しては、今後も連携を継続していきたいです。
- いつもお世話になっております。訪問して頂いている支援員さんと実際に施設で本園の園児を見て頂いている支援員さんが違うと思うので、難しいと思いますが、訪問支援の際にならぬさんでの支援の様子も聞けると嬉しいです。また、どのように援助・支援すべきなのか一緒に考えていけると幸いです。よろしくお願ひします。
- 対象児童に関する対応策等を詳しく丁寧にご説明いただき、大変ありがたかったです。口頭でのやりとりだけでなく、毎回の訪問支援でのお気付きの点等も文書で示していただき、自身の関わり方について具体的に考えることができました。お世話になり、ありがとうございました。
- いつもありがとうございます。「すごいなあ、素晴らしいな」と肯定的な視点でこどもの行動を捉えてくださり、私たちの関わりに寄り添った支援の仕方を示して下さるので安心して色々相談させて頂いています。環境設定のアドバイスも園の中でできることを一緒に考えてくださるのでありがたいです。今後ともよろしくお願ひします。

ご意見を踏まえた対応

たくさんのご意見、ご感想ありがとうございます。保育園や学校のお忙しい現場の中で、訪問支援を理解し、受け入れていただいたことを心から感謝しております。訪問支援でのアドバイスを参考にさせていただいたというご感想をいただき、大変嬉しく思います。事業所として、学校や保育園という異なる環境の中で生活する子どもたちに対して、その教育環境や教育方針を踏まえた上でお話しさせていただくことを大切にしております。そのため、そのことで助言不足と感じる部分があったのかもしれない。また、お忙しい現場の中で、お話を時間をいただくことに、遠慮がちになり過ぎてしまっていたこともあったと思っております。来年度は、保育園、学校と、どのような連携方法がニーズなのかなどを踏まえながら紹介させていただきたいと思っております。

今後の支援の手立てや、進路においての相談に乗る機会も多く、保育園、学校等と共に進路についてのお話をする機会を得ることもできました。療育だけの視点ではなく、多角的な視点で子どもを評価することができ、大変有意義な連携をとることができました。「学校の様子を伝えることはできたが、その後指導に活かせることは少なかった」とのご意見に関して、こちらの力不足となり、大変申し訳ありませんでした。ご意見を踏まえ、学校の指導に活かせる情報提供、連携の仕方を工夫しながら、改善していけるよう努めていきたいと思ひます。「保護者に伝える際に、園側と事業所様側それぞれで伝えるとどうしても若干のズレが生じてしまうため、オープンな形の方が共有しやすいと感じる良かった」とに関しては、適宜関係者会議などを開催しながら、三者にて共有できる場を作っていきたいと思ひます。ご希望の保育所、学校などありましたらぜひお声がけいただきたいと思います。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名		療育センターないる 保育所等訪問支援		公表日		令和 7 年 4 月 8 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	○				
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○				
業務 改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○				
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けて おり、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善 につなげているか。	○				
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。	○				
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○				
適切 な支 援の 提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を 作成しているか。	○				
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者 だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども の最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と 連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○				
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○				
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保 育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容 が設定されているか。	○				
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行 われているか。	○				
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の 内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っている か。	○				
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援 の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○				
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し て支援を行っているか。	○				
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善 に繋げているか。	○				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育 所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ ているか。	○					

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○				
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○			
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			

	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			